



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月26日

上場会社名 株式会社だいこう証券ビジネス 上場取引所 東  
 コード番号 8692 URL <https://www.daiko-sb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 御園生 悦夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 大矢 光一 TEL 03-5665-3040  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	4,316	△33.8	95	△85.8	130	△81.5	282	△55.5
2018年3月期第1四半期	6,517	13.4	673	—	705	—	635	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 270百万円 (△59.8%) 2018年3月期第1四半期 672百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	11.24	11.21
2018年3月期第1四半期	24.88	24.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	37,083	23,772	64.0	942.92
2018年3月期	37,069	23,580	63.5	939.42

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 23,728百万円 2018年3月期 23,537百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	△20.9	700	△64.3	750	△62.9	700	△60.0	27.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	25,657,400株	2018年3月期	25,657,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	492,273株	2018年3月期	602,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	25,142,163株	2018年3月期1Q	25,550,293株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 自己資本規制比率（個別） .....	8
(2) 株式売買高（先物取引を除く）（個別） .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、国内における雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、米国等の海外における不安定な政治動向から先行き不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、本年4月、「証券業の共同インフラ会社」構想をより一層具体的にすることを目的として、新五カ年計画「DCT2022」（2018年度～2022年度）をスタートいたしました。この新五カ年計画「DCT2022」において、「クオリティファーストの徹底」「デジタルイノベーションの推進」「統合BPOソリューションサービスの提供体制の整備」「統合BPOソリューションサービスの拡充・展開」の4つを重要経営課題として、各施策に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、新規顧客の獲得等があったものの、前連結会計年度末に連結子会社であった株式会社ジャパン・ビジネス・サービス（以下「JBS」という。）の全株式の譲渡、一部大口案件の終了およびマイナンバー関連サービスの縮小等により、営業収益は43億16百万円（前年同四半期比33.8%減）、営業利益は95百万円（前年同四半期比85.8%減）、経常利益は1億30百万円（前年同四半期比81.5%減）、金融商品取引責任準備金戻入等により親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円（前年同四半期比55.5%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① バックオフィス事業

バックオフィス事業におきましては、新規案件の受託があったものの、前連結会計年度末にJBSの全株式を譲渡したことおよびマイナンバー関連サービスの縮小等により、営業収益は22億29百万円（前年同四半期比38.8%減）、セグメント利益（営業利益）は1百万円（前年同四半期比99.5%減）となりました。

#### ② ITサービス事業

ITサービス事業におきましては、新規顧客獲得に伴うシステム利用料の増加があったものの、一部顧客の開発案件が終了したこと等により、営業収益は17億18百万円（前年同四半期比24.6%減）、セグメント損失（営業損失）は5百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）1億62百万円）となりました。

#### ③ 証券事業

証券事業におきましては、新規顧客の獲得があったものの、前連結会計年度に一部大口案件が終了したこと等により、営業収益は3億42百万円（前年同四半期比39.8%減）、セグメント利益（営業利益）は、65百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

#### ④ 金融事業

金融事業におきましては、証券担保ローンの融資残高が減少したこと等により、営業収益は25百万円（前年同四半期比2.9%減）、貸倒実績率が減少したこと等により、セグメント利益（営業利益）は17百万円（前年同四半期比84.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は370億83百万円で、前連結会計年度末に比べ13百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、信用取引貸付金が減少したものの、短期貸付金が増加したことによるものです。また、負債合計は133億10百万円で、前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少しました。これは主に、金融商品取引責任準備金が減少したことによるものです。純資産合計は237億72百万円で、前連結会計年度末に比べ1億91百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年4月26日公表の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,155	9,227
預託金	1,562	1,526
預け金	2,000	2,000
営業貸付金	3,925	3,925
短期貸付金	—	3,000
信用取引資産	6,945	6,248
信用取引貸付金	6,750	6,037
信用取引借証券担保金	194	210
たな卸資産	16	73
営業未収入金	1,947	1,929
有価証券	—	500
短期差入保証金	3,404	3,404
その他	1,252	257
貸倒引当金	△29	△9
流動資産合計	32,178	32,082
固定資産		
有形固定資産	1,191	1,232
無形固定資産		
ソフトウェア	629	688
その他	247	221
無形固定資産合計	877	910
投資その他の資産		
投資有価証券	936	1,006
その他	1,886	1,851
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,822	2,858
固定資産合計	4,890	5,000
資産合計	37,069	37,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	2,400	2,400
1年内返済予定の長期借入金	500	500
信用取引負債	1,014	1,037
信用取引借入金	771	742
信用取引貸証券受入金	242	294
有価証券担保借入金	260	400
有価証券貸借取引受入金	260	400
営業未払金	631	606
未払法人税等	116	47
短期受入保証金	4,540	4,592
賞与引当金	408	204
その他	1,300	1,154
流動負債合計	11,170	10,943
固定負債		
退職給付に係る負債	1,497	1,515
その他	225	375
固定負債合計	1,722	1,891
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	594	476
特別法上の準備金合計	594	476
負債合計	13,488	13,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,932	8,932
資本剰余金	11,394	11,395
利益剰余金	3,197	3,329
自己株式	△382	△312
株主資本合計	23,142	23,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374	360
土地再評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	20	23
その他の包括利益累計額合計	395	383
新株予約権	43	43
純資産合計	23,580	23,772
負債純資産合計	37,069	37,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
営業収益	6,517	4,316
営業費用	3,767	2,619
営業総利益	2,750	1,697
一般管理費	2,077	1,601
営業利益	673	95
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	27
その他	10	7
営業外収益合計	32	35
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	705	130
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
金融商品取引責任準備金戻入	—	118
移転補償金	—	89
その他	—	4
特別利益合計	7	212
特別損失		
投資有価証券評価損	—	9
その他	—	0
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	713	332
法人税、住民税及び事業税	38	3
法人税等調整額	38	46
法人税等合計	77	50
四半期純利益	635	282
親会社株主に帰属する四半期純利益	635	282

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	635	282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△14
退職給付に係る調整額	4	2
その他の包括利益合計	36	△12
四半期包括利益	672	270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	672	270



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	3,641	2,280	569	26	6,517	—	6,517
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	32	89	—	—	121	△121	—
計	3,674	2,369	569	26	6,639	△121	6,517
セグメント利益	356	162	128	9	656	16	673

(注) 1 セグメント利益の調整額16百万円には、セグメント間取引消去13百万円、未実現利益の調整等2百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,229	1,718	342	25	4,316	—	4,316
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	59	—	—	59	△59	—
計	2,229	1,778	342	25	4,375	△59	4,316
セグメント利益又は損 失(△)	1	△5	65	17	78	16	95

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額16百万円には、セグメント間取引消去13百万円、未実現利益の調整等3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 自己資本規制比率 (個別)

		前事業年度 (2018年3月31日) (百万円)	当第1四半期会計期間末 (2018年6月30日) (百万円)
基本的項目 (A)		22,829	23,271
補完的項目	その他有価証券評価差額金 (評価益)等	418	403
	金融商品取引責任準備金等	594	476
	一般貸倒引当金	29	9
計 (B)		1,041	889
控除資産 (C)		5,019	4,966
固定化されていない 自己資本 (A)+(B)-(C) (D)		18,852	19,195
リスク相当額	市場リスク相当額	142	191
	取引先リスク相当額	720	509
	基礎的リスク相当額	3,159	3,042
計 (E)		4,022	3,743
自己資本規制比率 (D)/(E)×100		468.6%	512.7%

(2) 株式売買高 (先物取引を除く) (個別)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)	
	株数 (百万株)	金額 (百万円)	株数 (百万株)	金額 (百万円)
合計	1,648	1,575,339	186	391,061
(自己)	(0)	(12)	(0)	(101)
(委託)	(1,647)	(1,575,327)	(186)	(390,960)
委託比率	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%